

別記様式（第3条関係）

開催記録

名 称	町民懇談会
開催日時	平成 25 年 5 月 30 日 19 時から 20 時 45 分まで
開催場所	東尾岐地区公民館
出席者	<p>【役場】</p> <p>町長、鈴木まちづくり政策課長、須藤こども教育課長補佐、 渡部主任主査、鈴木主任主査</p> <p>【町民】13 名</p>
議 題	<p>○公共施設整備検討について</p> <p>○第 3 次総合計画に向けたまちづくりについて</p>
資料の名称	<p>○公共施設整備検討に関する庁内検討報告</p> <p>○第 2 次総合計画ダイジェスト版</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内容	
<p>《公共施設整備検討についての質疑》</p> <p>Q モデルケース 2 は、公民館を利用して窓口業務を実施するとのことだが、それぞれの公民館の耐震診断は実施しているのか？</p> <p>A 本郷公民館については、耐震診断を実施しており良好な結果が出ている。新鶴公民館は新耐震基準での建物となっており問題ないと判断した。</p> <p>Q 公共施設の現況で説明のあった高田庁舎の耐震診断の結果については、数値は悪いということは理解できるが、実際どのような状況なのか？</p> <p>A 高田庁舎は分類が D ランクとなり、震度 6 強の大規模な地震の場合、被害を受ける可能性が高い。美里公民館は C ランクとなり、震度 6 強の大規模な地震の場合に被害を受ける可能性がある。</p> <p>Q 高田庁舎の場合、年数が 52 年も経過しており、耐震診断の結果も踏まえれば、そこで働く職員がいる以上、早く実施した方がよい。</p> <p>A ご意見として承る。</p>	

《第3次総合計画策定に向けたまちづくりについての質疑》

- Q 山間部においては、高齢化が著しく、今後は集落として成り立たないところも出てくるのでは？また、高齢化により、地区の耕作放棄地も増えてくる。道路と用水の問題がクリアできれば耕作放棄地も減るのでは？
- A 中山間地だけでなく会津美里町全体でも人口減少が進んでいる。施策は講じているが、なかなかすぐに改善できる状況にはなっていない。耕作放棄地については、条件の悪い農地から放棄地となりやすい状況にあり、町としても重要な課題の一つとして認識している。
- Q 予防医療と保険体制の充実について、人間ドックの受診が旧高田時代は毎年だったが、合併後に1年おきとなった。財政的に難しいからなのか？
- A ご指摘のとおり。国保特会の状況からは毎年の実施は難しい。
- Q 東尾岐地区は土地改良区に入っていないため、集落の共同作業は地元だけでの実施となる。高齢化により作業に従事できる人が少なくなってきており、このために耕作放棄地も増えてきている状況にある。
- A 今後の課題として承る。
- Q 常時点灯している防犯灯がある。
- A 防犯灯と街路灯で管理主体が違う。後日、場所等を連絡してほしい。